

・西アフリカでのエボラ熱の流行

西アフリカで発生しているエボラ熱の流行は、10月もさらに拡大しています。WHOが10月22日に発表したギニア、リベリア、シエラエオネの累積患者数は9,911人(死亡4,868人)にのぼっており、この1か月間で患者数が3000人以上増加しました(WHO Global Alert and Response 2014-10-22)。リベリアとシエラレオネでは、ほぼ全土で患者が発生しており、患者数の正確な把握ができない状況に陥っています。また、隣国のマリでも10月下旬に患者発生が確認されています。(WHO GAR 2014-10-24)。一方、WHOはセネガルとナイジェリアでの流行が終息したことを宣言しました(WHO GAR 2014-10-22)。欧米諸国でもエボラ熱の輸入症例やそれを起点とする二次感染が発生しており、10月下旬までに米国で4人(2人は2次感染)、スペインで1人(2次感染)の患者が確認されました(米国CDC 2014-10-25)。

西アフリカでのエボラ熱流行は今後も続くものと予想されており、ギニア、リベリア、シエラエオの3か国への渡航はできるだけ自粛すべきです。また周辺諸国に滞在する際も、流行状況には十分に注意する必要があります。なお、ワクチン開発も加速されており、英国のグラクソ社と米国のNew Link社のワクチンが近日中に臨床試験に入る模様です(WHO GAR 2014-10-23)。

・中東で MERS コロナウイルス感染症の流行が再燃

中東諸国では MERS コロナウイルス感染症の流行が鎮静化していましたが、9月以降、患者数が再び増加傾向にあります。10月下旬までに全世界での累積患者数は906人(死亡361人)で、このうち772人がサウジアラビアで発生しています(英国 National Travel Health Network and Center 2014-10-24)。また、10月になりオーストリアとトルコで輸入例が確認されました(WHO GAR 2014-10-2, 24)。MERSはラクダや患者から飛沫感染する病気ですが、毎年、北半球の冬の時期に患者数が増加します。今のところヒトからヒトに効率的に感染する状況ではありませんが、流行地域に滞在する際には飛沫感染への十分な注意が必要です。

・アジアでの Dengue 熱流行

日本では東京の代々木公園を中心に Dengue 熱患者が発生していましたが、10月中旬以降は新たな患者発生はみられていません。10月下旬までに累積患者数は159人になりました(厚生労働省 Dengue 熱 HP 2014-10-22)。

中国の広東省では7月から20年ぶりとなる Dengue 熱の大流行が発生しています(外務省安全センター情報 2014-10-6)。10月中旬までに患者数は2万5,000人にのぼり、広州市での発生が多くなっています(Pro-MED 2014-10-13)。広東省に滞在する際には蚊に刺されない注意を心がけてください。

東南アジアのデング熱流行は次第に鎮静化しています(WHO 西太平洋 2014-9-9)。全体的に今年は昨年に比べて患者数が少なくなっていますが、マレーシア(患者数 8 万人)では昨年以上、シンガポール(1 万 6,000 人)では昨年並みの数となっています。

・南太平洋でのチクングニア熱の流行拡大

南太平洋各地でチクングニア熱の流行が拡大しています。今年の 4 月にトンガで最初の流行が発生し、それがサモア、タヒチなどに波及した模様です(英国 National Travel Health Network and Center 2014-10-17)。サモアでは 1,000 人以上、タヒチでは 200 人以上の患者が発生しています。

チクングニア熱は蚊に媒介される感染症で、今年はカリブ海諸国で大流行がみられていますが、今後、南太平洋でも流行拡大することが懸念されています。

・ガーナでのコレラの流行

ガーナで今年の 7 月からコレラの流行が発生しています。患者数は 9 月上旬までに 1 万 5,000 人にのぼっており、首都アクラ周辺での発生が多くなっています(米国 CDC 2014-10-3)。現地に滞在中は飲食物に注意してください。